

独立行政法人日本学生支援機構の令和2年度業務実績に関する評価結果を踏まえた業務運営の改善等への反映状況

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況																				
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 奨学金事業</p> <p>(2) 給付奨学金</p> <p>① 奨学金の的確な支給</p>	<p><8>給付奨学金の的確な実施状況</p> <p>給付型奨学金については、対象となる学生に対して大学等との連携・協力の下、更なる制度周知の取組を行っていく必要がある。</p>	<p>○高等学校等及び大学等の奨学金事務担当者に対する情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響を踏まえ対面での研修会は開催せず、大学等の奨学金事務担当者を対象とした研修資料を音声付スライド動画で作成し、奨学金事務担当者ホームページに掲載するなど情報提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ各都道府県等が実施する高等学校等の教職員を対象とした説明会等への職員の派遣は行わず、研修資料等の提供により周知を図った。 ・令和4年度に在学する学生等を対象とした給付奨学金制度の周知用リーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、大学等を通じて学生等への周知を依頼した。 ・令和5年度に進学を予定している高校生等を対象とし、給付奨学金制度の周知用リーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、高等学校等を通じて全ての令和5年3月卒業予定者に配布し、制度の理解及び周知に努めた。 ・給付奨学金制度の周知に関する取組みとして、給付奨学金を利用していない貸与奨学生に対して、スカラネット・パーソナルから貸与奨学金の「奨学金継続願」提出時に、給付奨学金に関する案内を確認できるようにした。 ・給付奨学金制度の更なる周知に向けた取組みの一環として、奨学生を対象として制度の認知経路等を問うアンケートを実施した。 																				
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 奨学金事業</p> <p>(3) 奨学金事業に共通する事項の実施</p> <p>① 奨学金制度の周知及び広報の充実</p>	<p><10>奨学金制度の周知及び広報の実施状況</p> <p>コールセンターにおける照会への対応による、令和2年度開始の新たな給付奨学金制度の周知については、より質の向上に努める必要がある。</p>	<p>○学生・生徒、保護者等の奨学金の利用を希望する者に対する情報提供</p> <p>コールセンターによる照会への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コールセンターにおいて、奨学金の申込希望者、保護者及び返還者からの制度概要等の照会に対応することで、奨学金制度の周知を図った。 ・給付奨学金制度に関する照会に対して、申込方法及び採用基準等を案内することで制度の周知を図った。 ・繰上返還や住所変更等はスカラネット・パーソナルからの申請を案内することで、返還者の利便性を図った。 ・奨学金に関する疑問・質問をチャットボット等で解決できる奨学金相談サイト(Q&A サイト)を開設し、基本的な制度概要等については、直接コールセンターに電話で相談せず、サイト内で完結できるよう利便性を図った。 <p><コールセンターにおける応答件数></p> <table border="1" data-bbox="1153 1252 1984 1414"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸与関連</td> <td>176,269件</td> <td>177,333件</td> <td>99.4%</td> </tr> <tr> <td>給付関連</td> <td>62,607件</td> <td>66,679件</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>返還関連</td> <td>483,130件</td> <td>512,517件</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>722,006件</td> <td>756,529件</td> <td>95.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比	貸与関連	176,269件	177,333件	99.4%	給付関連	62,607件	66,679件	93.9%	返還関連	483,130件	512,517件	94.3%	計	722,006件	756,529件	95.4%
区分	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比																			
貸与関連	176,269件	177,333件	99.4%																			
給付関連	62,607件	66,679件	93.9%																			
返還関連	483,130件	512,517件	94.3%																			
計	722,006件	756,529件	95.4%																			

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況												
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 留学生支援事業</p> <p>(1)外国人留学生に対する支援</p> <p>①日本留学に関する情報提供等の充実</p>	<p>〈13〉日本留学に関する情報提供等の実施状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、オンラインを活用した、情報提供の充実について進捗が見られた。新型コロナウイルス感染症の拡大により、受入留学生数の減少が予想されるため、コロナ収束後を見据え、留学希望者を増やす観点等を考慮して、情報発信を行う必要がある。</p>	<p>○インターネットによる情報発信</p> <p>(1)「日本留学情報サイト」による情報発信</p> <p>・情報発信の状況</p> <p>コンテンツの精査と充実を図るため、文部科学省及び外務省との検討会議を実施し、日本への留学に関する情報やFAQの内容を見直し、更新するとともに、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供、政府機関等に関するイベントの情報を提供する等、情報発信の更なる充実を図った。令和3年度は、留学生が希望の学校を選択できるよう大学検索機能を構築した。また、学校選択の参考となるよう各都道府県の生活に関する基本情報を紹介するページを令和4年4月公表に向けて準備を進めた。</p> <p>〈日本留学情報サイトのアクセス件数〉</p> <table border="1" data-bbox="1178 595 2029 663"> <thead> <tr> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,356,450件</td> <td>2,767,957件</td> <td>157.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)SNSによる情報発信</p> <p>日本留学イベント等に関する広告に合わせてFacebookを運用し、適宜日本留学をはじめとする幅広い情報提供を行い、日本留学に関する情報発信を行うことで、情報提供の窓口を広げた。</p> <p>〈留学生事業のFacebookファン数〉</p> <table border="1" data-bbox="1178 948 2011 1016"> <thead> <tr> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,901件</td> <td>14,714件</td> <td>135.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)Facebookのファン数は、年度末時点の件数を表す。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症収束後を見据えた留学希望者の増加のためには、SNSを通してより広く情報を発信する必要があることから、情報提供の窓口を拡大し、日本留学を希望する外国人留学生に特化した情報発信をすることを目的に、令和4年3月22日からInstagramを運用するとともに、令和4年度からの公開を目指してJASSO Study in Japan Facebookの運用準備を行った。</p>	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比	4,356,450件	2,767,957件	157.4%	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比	19,901件	14,714件	135.3%
令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比												
4,356,450件	2,767,957件	157.4%												
令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比												
19,901件	14,714件	135.3%												
<p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 留学生支援事業</p>	<p>〈14〉日本留学試験の実施状況</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、従来どおりの試験方法では対応できない可能性があるため、試験のコンピュータ化などにより、学生が確実に受験できる方法に取り組むこと。</p>	<p>○日本留学試験のコンピュータ試験に向けた準備</p> <p>(1)日本留学試験コンピュータ試験化検討部会の発足</p> <p>大学入学共通テストのコンピュータ試験化を検討した有識者及び英語試験の専門家等7人で構成される「日本留学試験コンピュータ試験化検討部会」を発足し、計6回会議を開催、現行の紙による試験との連続性やテストデザイン等の検討を開始し、中間取りまとめを行った。</p> <p>また、機構内に理事長代理を主査とする「日本留学試験コンピュータ試験化PT」を発足</p>												

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況
(1)外国人留学生に対する支援 ②日本留学試験の適切な実施		<p>し、検討部会の審議事項を報告したほか、意見交換等を行った。</p> <p>(2)IBT(Internet Based Testing) 試行試験の実施 令和4年1月11日～20日に、日本留学試験IBT試行試験を日本、香港、マレーシア及びインドで実施し(受験者130人)、自宅でも受験できるIBT試験の実施運営上の課題や問題点を確認した。</p> <p>(3)コンピュータ試験に係る情報収集 独立行政法人大学入試センターとコンピュータ試験や作題体制について情報交換し、AI記述採点の研究者からはレクチャーを受けた。</p>
I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 留学生支援事業 (1)外国人留学生に対する支援 ④学資金の支給等	<p><18>外国人留学生に対する学資金支給の実施状況 新型コロナウイルス感染症等の影響により経済的に困窮している留学生に対し、例年の業務にはない、特例措置を行ったことは評価できる。</p>	<p>○国費外国人留学生の給与(奨学金)支給業務 文部科学省が定める新型コロナウイルス感染症による影響に対する以下の特例措置に基づき、文部科学省や大学等と連携して適切に支給を行った。 ・給与(奨学金)支給期間を終了し、本国への帰国を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する交通遮断等により帰国が困難となっている国費外国人留学生に対し、引き続き国費外国人留学生としての身分を付与し、給与(奨学金)を支給する特例措置(令和3年4月～令和4年3月)により、延べ94か月分の支給を行った。 ・在籍確認簿のサインに関する各種特例措置を実施した。</p> <p>○留学生受入れ促進プログラム(文部科学省外国人留学生学習奨励費)の実施 新型コロナウイルス感染症等の影響により、経済的に困窮している外国人留学生に対し、特別追加採用(6か月)を行い、5,381人を採用した。 また、各大学等からの受給者の推薦や在籍確認の条件を一部緩和することにより、水際対策等で渡日できない留学生や渡日直後や新型コロナウイルス感染症の影響による隔離等の理由により登校できない留学生に対する特例措置を講じた。加えて、日本留学試験の成績優秀による文部科学省外国人留学生学習奨励費給付予約者に対し、大学等の入学時期の期限を延長する特例措置を講じた。</p> <p>○海外留学支援制度(協定受入)の実施 令和2年度海外留学支援制度(協定受入)の採択プログラムのうち、令和3年度においても継続して支援するプログラム(学生交流推進タイプ(タイプB))の採択について、本来は、採択年度において実績がないと翌年度の採択を取り消すところ、令和2年度の実績がない場合においても採択を取り消さないよう特例措置を講じた。</p>
I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき	<p><21>日本留学経験者に対するフォローアップの実施及びこれらとのつながりを維持するためのネットワークの整備状況 帰国外国人留学生研究指導事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難であった事情は理解できるが、現下の状況も鑑み、将来的に現地の大学・研究機関等で教育・</p>	<p>○帰国外国人留学生研究指導事業の実施 留学を終え、自国の大学や学術研究機関で教育、研究活動に従事している帰国外国人留学生に対し、日本における留学時の指導教員を現地に派遣し、研究指導等を実施する事業である。 令和3年度は、追加採用を含む6大学5か国・地域6人を採用した。また、新型コロナウ</p>

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況										
<p>措置 2 留学生支援事業 (1)外国人留学生に対する支援 ⑥卒業・修了後の支援</p> <p>I 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 留学生支援事業 (2)日本人留学生に対する支援 ①海外留学に関する情報提供等の充実</p>	<p>学術研究等に従事する帰国留学生との学術交流等を支援するといった事業趣旨を踏まえた改善策の検討が望まれる。</p> <p>〈22〉日本人学生の海外留学に関する情報提供等の実施状況 海外留学支援サイト等のアクセス数の減少から、昨年度は、新型コロナウイルス感染症により、海外渡航が困難となり、渡航予定の学生のアクセスが減少したことが影響として現れているのではないかと思慮。今後留学希望者を増やすような情報提供を行う必要がある。</p>	<p>イルス感染症の影響により、現地での研究指導は採用者全員が実施できなかったが、オンラインで研究指導及び特別講義等を実施した場合に必要な経費を支援する特例措置を講じ、3人が実施した。さらに、今後の事業の方向性について、今の時代にあった帰国外国人留学生のフォローアップとしてどのような支援が必要なのか実施委員会で意見を伺い、改善に向けて検討を始めた。</p> <p>○ホームページ等による情報提供の充実</p> <p>(1)「海外留学支援サイト」の運営 平成26年度に構築した海外留学支援サイトを継続して運営するとともに、最新の海外留学情報をこれまで以上に迅速かつ正確に提供することを目的とし、各関係機関等へ掲載内容の確認及び最新情報の提供依頼を行った。 また、リニューアルについては令和3年度中に実施する計画であったが、仕様書に基づくコンサルティング専門業者による見込み経費が想定を上回ったため、調達の見直しが生じた結果、令和3年度中の実施が不可能になった。このため、令和4年度内の構築に向けて入札を行い、構築業者を決定した。具体的なリニューアル内容については、コンサルティング専門業者によるモニター調査結果等に基づいて、見易さや、わかりやすさを基本に、デザインと各内容を構築業者と検討していく予定である。 さらに、令和2年度からリンクを掲載している文部科学省、外務省及び厚生労働省の新型コロナウイルス感染症関連の情報や、留学中の学生向けの各国・地域の緊急救援基金情報及び海外安全のリンク等を引き続き掲載するとともに、令和3年度は、日本人留学生の薬物使用事案が増加していることを踏まえ、警視庁と連携し、薬物乱用防止について説明している警視庁のサイトのリンクを新たに掲載し、随時必要とされる情報の提供に努めた。</p> <p>〈「海外留学支援サイト」アクセス件数〉</p> <table border="1" data-bbox="1182 1034 1912 1106"> <thead> <tr> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,040,316件</td> <td>854,302件</td> <td>121.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)「海外留学奨学金検索システム」の運営 海外留学に関する奨学金情報を検索できる海外留学奨学金検索システムを継続して運営するとともに、コンテンツの更新を行った。</p> <p>〈海外留学奨学金検索システムアクセス件数〉</p> <table border="1" data-bbox="1182 1299 1722 1370"> <thead> <tr> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33,067件</td> <td>31,715件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)動画コンテンツの配信 海外留学オンラインフェアの動画を期間限定でも良いので配信して欲しい、との参加者</p>	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比	1,040,316件	854,302件	121.8%	令和3年度	(参考)令和2年度	33,067件	31,715件
令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比										
1,040,316件	854,302件	121.8%										
令和3年度	(参考)令和2年度											
33,067件	31,715件											

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況						
		<p>からの要望を受けて、許諾を得ることができた参加機関等による説明動画 24 本を配信した。</p> <p>(4)SNS の利用 Facebook を通じて適宜情報提供を行い、海外留学に関する情報発信を行った。</p> <p>＜留学生事業のFacebook ファン数＞【再掲】</p> <table border="1" data-bbox="1182 456 1901 523"> <thead> <tr> <th data-bbox="1182 456 1435 491">令和3年度</th> <th data-bbox="1435 456 1711 491">(参考)令和2年度</th> <th data-bbox="1711 456 1901 491">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1182 491 1435 523">19,901件</td> <td data-bbox="1435 491 1711 523">14,714件</td> <td data-bbox="1711 491 1901 523">135.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)Facebook のファン数は、年度末時点の件数を表す。</p> <p>○海外留学イベントの実施及び他機関実施イベントへの協力 令和3年度の機構主催イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続きすべてオンライン開催となった。開催に当たっては、令和2年度に実施したイベントの参加者アンケート調査の結果を踏まえ、実施方法などを改善した。また、オンライン開催の実施体制を整え、開催回数は年度計画値の達成に努めた。他機関実施イベントへの協力も新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてオンライン開催となったが、主催者も機構側もオンライン開催に慣れてきたこともあり、協力回数は令和2年度より増加した。</p> <p>(1)海外留学フェア実施状況 留学希望者が効果的に留学準備を進められるように、令和3年6月に対面での海外留学フェアを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止し、「海外留学オンラインフェア2021」と題して、令和3年9月にオンラインで開催した。令和2年度は動画配信のみであったが、令和3年度はライブセミナー形式で、機構を含む在日外国公館等による28のセミナーを実施し、留学希望者の関心の高い留学情報の収集や留学資金に関する情報を含む留学の基礎情報に加えて、新型コロナウイルス感染症による各国・地域における留学への影響や対応について最新の情報を提供した。</p> <p>(2)海外留学説明会実施状況 海外留学希望者の関心が高い海外貸与奨学金や海外留学支援制度等の情報について、年間を通してオンライン説明会を行った。留学を希望する幅広い層が参加しやすいよう、JASSO奨学金ランチタイムセミナーとしてお昼時間帯の45分間とし、計7回開催した。また、留学経験者の生の声を届けるため、テーマ毎に海外留学経験者から経験談を直接聞ける留学経験者セミナーを計5回開催し、コロナ禍の留学経験を含めた情報発信を行った。</p> <p>(3)他機関実施イベントへの協力状況</p>	令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比	19,901件	14,714件	135.3%
令和3年度	(参考)令和2年度	前年度比						
19,901件	14,714件	135.3%						

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況															
		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、在日外国公館や大学等が主催する留学フェアやイベント等の多くがオンラインでの開催となった。そのため、令和2年度に協力した機関に加え、新たに NPO 団体主催のイベント、大学及び高校の7 機関の説明会等へ参加し、海外留学のための奨学金等の情報提供に努め、計 14 回協力した。</p> <p>(4)動画コンテンツの配信【再掲】 海外留学オンラインフェアの動画を期間限定でも良いので配信して欲しい、との参加者からの要望を受けて、許諾を得ることができた参加機関等による説明動画 24 本を配信した。</p> <p>＜海外留学イベントの実施及び他機関実施イベントへの協力状況＞</p> <table border="1" data-bbox="1182 582 2033 758"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外留学フェア</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>海外留学説明会</td> <td>12 回</td> <td>5 回</td> </tr> <tr> <td>他機関実施イベントへの協力</td> <td>14 回</td> <td>7 回</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>27 回</td> <td>13 回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和3年度	(参考)令和2年度	海外留学フェア	1 回	1 回	海外留学説明会	12 回	5 回	他機関実施イベントへの協力	14 回	7 回	全体	27 回	13 回
区分	令和3年度	(参考)令和2年度															
海外留学フェア	1 回	1 回															
海外留学説明会	12 回	5 回															
他機関実施イベントへの協力	14 回	7 回															
全体	27 回	13 回															
<p>II 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 業務の効率化 (1)一般管理費等の削減</p>	<p>＜28＞業務経費(人件費、奨学金事業業務経費及び新規に追加される業務経費を除く。)削減の進捗状況 9.0%の効率化を達成したことは評価できる。なお、機構の説明によると、削減については新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業のみならず、新たに開始した事業も存在することに加え、通常の業務改善に係る取組によるものもあるため、機構の努力に依らずに新型コロナウイルスの影響で節減された金額のみを特定することは困難であるということであった。いずれにしろ、新型コロナウイルス感染症が収束した後も経費の削減を継続できるよう、引き続き業務の見直しに努めることを期待する。</p>	<p>○業務経費削減に係る取組 新型コロナウイルス感染症の影響下において、留学生数の減少により、留学生受入れ促進プログラム等に係る経費が抑制された。また、日本留学フェアをオンラインにする等、事業の実施方法を工夫することで経費の節減を図った結果、平成 30 年度予算に対し 9.1%の効率化を達成した。</p> <p>＜業務経費の削減状況＞ (単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="1137 986 1839 1129"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>平成30年度</th> <th>令和3年度</th> <th rowspan="2">平成30年度予算に対する削減割合</th> </tr> <tr> <th>予算</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務経費</td> <td>5,562,286</td> <td>5,057,273</td> <td>△9.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成30年度	令和3年度	平成30年度予算に対する削減割合	予算	実績	業務経費	5,562,286	5,057,273	△9.1%					
区分	平成30年度	令和3年度		平成30年度予算に対する削減割合													
	予算	実績															
業務経費	5,562,286	5,057,273	△9.1%														
<p>II 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 学生支援に関する調査・分析・研究の実施</p>	<p>＜33＞学生支援に関する調査・分析・研究の実施状況 令和元年度の私費外国人留学生生活実態調査の結果について、本来翌年度内の公表が望ましいところ、公表が遅れたため、次回において、スケジュール等を見直す必要がある。</p>	<p>○学生支援に関する調査・分析・研究の実施 私費外国人留学生生活実態調査 令和4年1月から3月にかけて、大学等の協力を得て、私費外国人留学生に対し、日本での生活に関する調査項目にオンラインでの回答を依頼した。前回の調査では、調査の実施時期に新型コロナウイルス感染症の影響で閉鎖となる大学等があり、調査期間の延長をせざるを得なかったが、今回の調査においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、私費外国人留学生が回答しやすいよう、調査項目に英語訳だけでなく、中国語訳及びベトナム語訳も新たに加えたことにより、短期間で回答を確保できた。また、前回から導入したオンラインでの回答フォームについても金額の入力項目をわかりやすく表示するなど、誤回答を減らす工夫を行った。これらの取組等により、収集した</p>															

中期計画項目	令和2年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和3年度業務運営への反映状況												
III 財務内容に関する事項 2 寄附金事業の実施	<p>＜35＞寄附金事業の実施状況 令和2年度に多額の寄附を獲得できたことは評価できるが、これを一時的なものとして、引き続き寄附金の獲得拡大に努めることを期待する。</p>	<p>回答の集計結果を令和4年9月に公表する予定である。</p> <p>○学生支援寄附金の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの周知、奨学金返還開始時に配付する「返還のてびき」や特に優れた業績による「返還免除認定通知」及び返還完了時に発送する「返還完了通知」への「寄附金募集のご案内」の掲載など、寄附金募集に係る広報を行った。 ・社会貢献の一環として株主優待制度を活用した寄附制度を有する企業や、私募債発行手数料の一部をSDGs関係団体に寄附する商品を有する金融機関と連携し、機構を寄附先に指定する機関を増やすなど（株主優待制度活用企業は3社増、金融機関は2社増）、寄附金獲得に努めた。 ・寄附者への感謝の気持ちを広く表明し、継続的な寄附や新規の寄附を促すことを目的として、一定額以上の寄附者の法人名又は個人名を寄附者の意向に応じて機構ホームページに公表した。 ・個人からの継続的な寄附及び多様な寄附受入方法を維持するため、平成29年11月より導入したオンライン寄附システムを引き続き運用した。 <p>上記の取組により、令和3年度の寄附金の受入れは下表のとおりとなった。</p> <p>＜学生支援寄附金の受入状況＞</p> <table border="1" data-bbox="1167 823 2018 922"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和3年度</th> <th>(参考)令和2年度</th> <th>(参考)令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>2,737件</td> <td>2,837件</td> <td>1,905件</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>868,411,750円</td> <td>1,507,751,223円</td> <td>523,777,706円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度においては、「新型コロナウイルス感染症対策に係る寄附金」10.3億円を含む。</p>	区分	令和3年度	(参考)令和2年度	(参考)令和元年度	件数	2,737件	2,837件	1,905件	金額	868,411,750円	1,507,751,223円	523,777,706円
区分	令和3年度	(参考)令和2年度	(参考)令和元年度											
件数	2,737件	2,837件	1,905件											
金額	868,411,750円	1,507,751,223円	523,777,706円											